

高 下関北高校だより

(令和4年7月19日発行)

山口県立下関北高等学校

〒759-5511 下関市豊北町滝部 1003 番地
TEL(083)782-0023 FAX(083)782-0183

高校生活の様子は下関北高校HPでも紹介しています。
<http://www.shimonosekikita-h.ysn21.jp>

■ 県高校総体・県高校総文 壮行式を実施しました。

5月20日(金)、県高等学校総合体育大会に出場するバレーボール部・テニス部・ソフトテニス部・サッカー部・陸上競技部・相撲部と県高等学校総合文化祭に参加する吹奏楽部の壮行式が行われました。

初めに各部の部長から各大会の概要と抱負が述べられ、校長先生、生徒会長の松野君から激励の言葉が贈られました。その後、応援団の指揮で校歌を熱唱し、選手を激励しました。

新型コロナウイルス感染症への対策をしながらの大会となりますが、昨年と比べて観覧できる競技も増えています。また県高校総文はシンフォニア岩国を会場として3年ぶりに開催されます。3年生にとっては集大成の大会となります、各部とも全力を出し切って、悔いのない大会にしてほしいと思います。



■ 地域探究Ⅰ・Ⅱ「環境・自然」グループの活動紹介①

地域探究の「環境・自然」グループでは、北高夢ロード実行委員会の岡崎新太郎先生、藤岡達雄先生のご指導で、3年間、継続した活動を行っています。

5月17日(火)～29日(日)にギャラリー夢ロードを会場として、下関北高の環境・自然グループが取り組んだ地域探究授業の写真展を開催していただきました。北高での授業写真のほかに、北高夢ロードの初期の歩みを紹介するスライド映写会や現在も取り組んでおられる「アオノリの養殖実験」のセットも見て楽しめました。

5月26日(木)の授業で今年の「環境・自然」グループのメンバーで北高写真展を見学に行きました。展示されている写真には、1枚1枚にコメントが書かれていました。それらには、観察の視点が示されているもの、説明がなされているものや思わず笑ってしまうものなどがあり、写真の鑑賞の仕方を楽しみながら学ぶことができました。また、過去3年間の写真を見て、探究したい場所の計画を立てることもできました。今年度の地域探究でも、新たな発見がたくさんできそうだと、メンバーの目も輝いていました。



■ 県高校総体に出場しました。

5月28日(土)、29日(日)、30日(月)は、県内各地で高校総体の各種目が行われました。

このうち、相撲競技は南陽工業高校の相撲場で行われ、個人戦の80kg級で岩崎駿君が1位、河村隼杜君が3位、100kg級では下村耶真人君が1位、松岡建晋君が3位、無差別級では島崎涼君が1位、下村耶真人君が2位になりました。個人80kg級の1位、100kg級の1位、無差別級の1位から3位については、7月26日から高知県高知市の高知県立県民体育館で開催される全国高校総体への出場が決まりました。

陸上競技部は女子4×400mリレーで6位、女子円盤投で5位となり、これら二種目で中国大会出場を決めました。特にリレーについては、昨年は最終走者のラスト10mで他校に逆転され、寸前で惜しくも中国大会を逃していたので、今回はその雪辱を果たしたことになります。



他の部活動の初戦の結果は以下のとおりです。

ソフトテニス部(男子) 団体戦 0-3 厚狭高校、個人戦 田村・高崎ペアが2回戦進出
ソフトテニス部(女子) 団体戦 1-2 岩国高校、バレーボール部 0-2 徳山高校
テニス部 0-3 田布施農工高校、サッカー部 0-12 高川学園
初戦で惜しくも敗れましたが、最後まであきらめない粘り強さをみせました。

■ 地域探究Ⅰ・Ⅱ「環境・自然」グループの活動紹介②

地域探究の「環境・自然」グループでは、北高夢ロード実行委員会の岡崎新太郎先生、藤岡達雄先生、北高CS活動推進員の白岡勝典先生のご指導で、下関北高校正門前の滑川や神出川の生き物について調べました。

6月2日(木)の授業では、生徒は胴付長靴(防水つなぎ)を履いて実際に川の中に入り、どのような生き物がいるか網で捕まえて調べました。



初めて胴付長靴を履いての活動に戸惑う生徒もいましたが、先生方の指示のもと安全面に注意して活動しました。川には、田に水を引くために堰堤が作られており、堰堤の上流は深く、下流は浅くなっています。特に今年は雨が少なかったため、水位が低く生き物を捕まえるには好条件でした。今回は下流のみを調査しました。そこにはタニシやメダカ、スジエビ、ヤゴ、ドンコやハヤの稚魚などがたくさん生息していました。全長10センチぐらいのテナガエビも捕獲できました。きれいな水と豊かな自然に恵まれていることを実感することができました。



■ 令和4年度「文化祭」を開催しました。

6月5日(日)、文化祭を開催しました。県高校総体が終了して、わずか1週間でしたが、連日、各団体とも協力して遅くまで準備をしました。今年も、新型コロナウイルス感染症の感染者が収まらない中での開催となったため、感染拡大防止の観点から様々な対策を講じて実施することとし、例年、一般公開を自由参加としていましたが、在校生の家族に限定して行いました。

今年の文化祭のテーマは“青春せずにはいられない 僕らの期待光(きたこう)”。オープニングでは、文化祭実行委員長の石原 綾乃さんのあいさつの後、自然と拍手が沸き上がり、北高生の結束が高まり文化祭がスタートしました。

1年生は学年全員で、モザイクアートやスタンドグラスなどの校内装飾で会場を彩り、また趣向を凝らした動画を作成して教室で上映しました。2年生は教室に迷路を作成し、また輪投げなどの縁日、ラノベ展とマンガ展を行いました。3年生は、焼きそば、たこ焼き、おにぎり、ジュース、ジェラートなど、家庭クラブは、パン、二見まんじゅう、だるま堂、川棚まんじゅう、シュークリームなどの食品バザーで、皆のお腹を満たしました。3年生はプラネタリウムの展示も行いました。総合文化

部は小説や絵、部活新聞などを、また家庭科の授業で作成したベビースタイ、韓国料理の紹介なども展示しました。ステージ午前の部では、生活と福祉の授業選択者による手話ソングの披露、きらきらこども園園児による発表、自作の服を着たファッションショー、吹奏楽部による迫力ある演奏、クラス対抗早押しクイズなどが会場を盛り上げました。ステージ午後部では、有志団体によるバンド演奏、2-1ダンス、「未成年の主張」、相撲部主催のアームレスリングチャンピオンシップが開催され、最後に音楽の崎永先生率いる有志バンド「さきながーず」の演奏で大いに盛り上がりました。高校生の一生懸命な格好良さと、かわいらしさが見ている人の目を楽しませました。

本校では、一人一役二役は当たり前、三役四役で一人前といわれるように、旧下関市内の高校と違って、一人ひとりの生徒の出番や役割が多いのが特徴です。それぞれの場面で、日頃とは少し違う生徒の生き生きした姿をたくさん見ることができました。多くの保護者の方にも見ていただくことができました。

食品バザーでは市内の業者の方にもお願いして、仕入れた商品を販売しました。ご協力ありがとうございました。また、感染対策を徹底して参加して下さった、「きらきらこども園」と「はまゆう園」の関係者の方々、大変ありがとうございました。

